



釧路あすなろクラブ会報

2010年 4月号

平成22年度年間テーマ 『挑戦！釧路』

◆平成 22年 4月 例会報告【執行部担当例会】

題目 「株式会社環境テクノスのあゆみ」
 講師 代表取締役 高橋弘行様
 開催日時 平成22年4月5日(月曜日) 午後 6時30分～
 開催場所 釧路キャッスルホテル 1階 海の間
 出席者 第一部会 8名 第二部会 9名 第三部会 9名 第四部会 7名
 合計出席者数 33名(全47名) 出席率 70.21 %

◆◆◆◆◆例会報告◆◆◆◆◆

『会長挨拶』

本日の新聞にスペースシャトルディスカバリーに搭乗する女性飛行士山崎さんの記事があり、日本人で7人目、女性で二人目の飛行士とのこと。私が小さいころに見たマンガの世界が現実のこととなってきて驚いています。

さて今日お迎えした環境テクノスの高橋社長様はビルの管理や、配管の洗浄などを専門とされています。普段私たちが接することの少ない分野の話を書くことも良い勉強になるのではないかと思います。



『例会内容』（株式会社環境テクノス代表取締役高橋弘行様ご講演）

私は雄別炭鉱の販売会社菱雄石炭に18年ほど勤務した後、菱光ショッピングセンターのボウリング場の支配人を2年ほど努め、友人が札幌で経営していたパイプ技研に34歳で転職しました。

札幌のパイプ技研には2年ほど在籍。ビル管理法では3000平方メートル以上の建物には、六ヶ月に1回配水管の清掃、一年に一回飲料水貯水槽の洗浄、ねずみやゴキブリなどの害虫の駆除、二ヶ月に一度空気環境の測定が義務づけられています。すすきには多くの飲食店ビルがあり、新規開拓には良いように思われましたがトラブルも多く、営業先を大手のマンション経営会社や公共施設を主体にすることにしました。

その間、毎月道東へ出張しており、少しずつ工事を受注していましたが、出張工事ではなく、地元に着したサービス体制が必要と感じ、昭和51年3月に独立、釧路に戻り釧路パイプ技研を設立。最初は妻と義弟の3人で会社を運営。前勤務先でも営業していた十勝や北網地区へも営業展開しました。

このころ、水と圧縮空気を使った上水道管洗浄方法を札幌のパイプ技研と共同開発し、普及のため当時各市町村の水道局でデモンストレーションしていたところ、釧路市水道局部長の新築自宅の水道が油臭に悩まされているとのこととで実証実験することに。結果は見事に成功し油臭は消え、以後釧路市では新築住宅の水道管の洗浄が義務付けされることとなり、毎年2000件以上洗浄工事が行われました。これが当社の基盤をつくることになりました。

さて、この洗浄方法には工法名が無いことが問題となり、パイプ技研の社長が北大の教授に相談したところ、高周波洗浄と命名され、以後、設計図面に高周波洗浄せよと記載されるようになり、さらに我社の発展に寄与しました。

その後帯広に進出。地元に着くために、全配管業者、全役所を周りまわりました。帯広支店もかれこれ31年が経ち、いまでは当社の経営を支える重要な地域となっております。帯広支店の経営が軌道に乗ったころから、次の目標を札幌進出に決めました。



10年前、元JR釧路支社長の瀬戸様が札幌駅地下街の社長を務められていたときに、

札幌進出を打診されましたが、前勤務先パイプ技研のこともあり断念。しかし、当時バブル崩壊後の不景気な時代に突入し、今後の業績を考えると札幌への進出は絶対必要なものであり、8年前に札幌進出を決め、当時の営業部長を札幌へ派遣し、太平洋興発や大京観光から受注を獲得しましたが、大手ばかりでなく中小のマンションにも目を向けることに。札幌には2800棟のマンションがあり、当社が担当しているのはその内の5%ほどですので、開拓する余地は充分にあり、更なる発展を目指します。



最近ではビルばかりではなく牛舎の空気配管の洗浄や、既設配管内部の補修（ライニング工法）も行っています。

身近な問題として、レジオネラ菌についてお話ししたいと思います。最初に大きく注目されたのは、フィラデルフィアで開催された米国在郷軍人会が開かれた際、参加者と周辺住民221人が原因不明の肺炎にかかり、抗生剤治療にも関わらず34人が死亡しました。会場の空調機から菌が拡散したのが原因でした。当時この菌には名前がなく、この事件後、在郷軍人（legionnaire）からレジオネラ菌と名づけられました。日本でも毎年20名以上感染し肺炎で死亡しているとの統計があります。注意することは、循環型のお風呂です。呼吸器に入った場合肺炎となりますので、水滴を吸引しないように気をつけてください。特に打たせ湯は避けてください。源泉掛け流し場合はあまり問題はありません。

約一時間に渡りご謹聴していただきましてありがとうございます。皆様には今後ともお元気でクラブ活動に専念されてください。



『質疑応答（一部抜粋）』

草島会員より、24時間風呂はどうなのでしょう？
高木会員より、家庭の風呂ではどのように対処したらよいのでしょうか？
木内会員より、寒い北海道ですが、アメーバは繁殖するのですか？
斉藤会員より、レジオネラ菌対応済みの24時間風呂があったら購入してもよいのでしょうか？

1995年頃から販売された家庭用の循環式の24時間風呂装置によってレジオネラ感染症が発生して販売中止になっていますので、ご使用は避けたほうがよいでしょう。この菌は人間に付着していますので、機械を洗浄しても、翌日には検出されますので駆逐することはできません。また、銭湯などでは、配管に付着しているアメーバがレジオネラ菌を捕食しています。アメーバは塩素では死にません。そのアメーバが死ぬと中のレジオネラ菌が放出されることで再度繁殖することになります。ちょうど風呂の適温が菌の繁殖にも最適なため爆発的に繁殖します。ということで、お風呂は毎日念入りに洗浄することをお勧めします。

お忙しい中ご講演いただきました高橋弘行様に感謝申し上げます。

『その他』

菊池吉郎会員より、釧路巖島神社例大祭御神輿市中御渡参加へのお願いがありました。



◆部会活動報告◆

第一部会 3月21日 釧路キャスルホテル 4月12日 釧路キャスルホテル
第二部会 4月7日 釧路キャスルホテル9名 5月13日 釧路キャスルホテル
第三部会 4月5日 佐良 11名
第四部会 4月中に予定

◆事務局連絡◆

1. やむおえず例会欠席予定を変更される方は部会長か事務局長への連絡をお願いします。
2. 円滑な会の活動を進めるために、年会費の早期納入をお願いします。
3. 会員増強を推進しています。推薦される方は事務局までお知らせください。
4. ホームページでは、カラーの会報、写真、過去の記念誌、会報などがご覧いただけます。どうぞご利用ください。アドレスは URL <http://www.marukoo.com/as/>
5. 巖島神社例大祭のお手伝いを募集します。多数の参加をお願いします。

釧路あすなろクラブ 5月例会のご案内

四月例会は株式会社環境テクノス代表取締役 高橋弘行 様をお招きし、環境テクノスのあゆみと題しまして、創業から現在至るまでの過程をご講演頂きました。さて、5月例会からは部会例会が始まります。トップバッターは第一部会です。

■ ■ ■ ■ 5月例会 ■ ■ ■ ■

■例会内容■ 部会例会 第一部会担当
『(仮題) 歌で挑戦 ヒートボイス』

講師：ヒートボイス 伊藤和彦様 目黒広幸様

■開催場所■ 釧路キャッスルホテル 一階 海の間

■日 時■ 平成22年5月13日(木曜日)

食事 午後6時00分～
例会 午後6時30分～

出欠連絡■ 締め切り 5月6日(木曜日)必着

★出欠の有無に○を付け、各部会長さんへFAXお願いします。

氏 名

例会 出席 ・ 欠席

食事 あり ・ なし

■各部会長のFAX番号■

一部会 畠山智彦 91-9549 二部会 結城 太 42-3235
三部会 加藤敏幸 44-5532 四部会 坂本裕人 36-8731